

2025年4月1日

ゼミナールご担当教員 殿
研究会ご担当教員 殿
ゼミナール代表者 殿
研究会代表者 殿

証券研究関西学生連盟
委員長 田中 良尚
(関西学院大学)

2025年度「春季セミナー大会」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、証券研究関西学生連盟の活動に格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当連盟では関西圏の大学において証券・金融分野を研究しているゼミナールや研究会に所属する大学生を対象に、2025年度「春季セミナー大会」を公開討論（ディベート）方式で開催することといたしました。

つきましては、開催案内（別紙1）をご確認のうえ、本セミナー大会へのご参加を検討くださるようお願い申し上げます。

なお、本セミナー大会へのご参加を希望される団体につきましては、「2025年度春季セミナー大会参加申込書」（別紙2）に必要事項をご記入のうえお申込みください。

【申込締切：4月30日(水)】

多数のご参加をお待ちしております。

敬具

【証券研究関西学生連盟とは】

全日本証券研究学生連盟（<http://shougakuren.jp/>）は、証券に関する問題を論理的・実証的に研究するとともに、加盟大学諸団体相互の交歓により証券研究の発展推進に寄与する事を以ってその目的として、約60年に亘り活動している大学生の団体です。

証券研究関西学生連盟は、地域連盟として関西に所在する大学の諸団体による交歓の機会を提供するとともに、他の地域連盟（関東学生連盟（東京）・中部学生連盟（名古屋））と協同で、全日本証券研究学生連盟の活動に参画しています。

【本件に関する問い合わせ先】

証券研究関西学生連盟（Email：shoukengakusei.kansai@gmail.com）

証券研究関西学生連盟
2025年度「春季セミナー大会」開催案内

1. 日 時

2025年6月21日（土） 9：30～18：00（予定）

2. 会 場

関西大学・千里山キャンパス

3. 開催目的

証券・金融に関する様々な問題の論理的・実証的な研究を通じ、相互の知識向上を図ることを目的とする。

4. 開催方式

公開討論（ディベート）方式

5. 参 加 費

無料

6. 募集定員

6ブロック24チーム
（ブロック数および1ブロック内のチーム数は変更することがある）

7. 討論テーマ（命題）

「NISA制度に国内企業限定投資枠を追加すべきか」（別添1参照）

8. ル ー ル

- (1) 討論テーマ「NISA制度に国内企業限定投資枠を追加すべきか」について相手チームとの間で公開討論（ディベート）を行う。なお、1チーム当たりの試合（討論）回数については1試合または2試合とし、2試合の場合であっても「肯定」もしくは「否定」のどちらかの立場のみ取るものとする（肯定・否定の双方の立場で1試合ずつ行うことはない）。試合回数および「肯定」または「否定」の立場については、参加チーム数が確定次第、速やかに参加申込書記載の代表者宛に連絡する。
- (2) 1チームの参加人数は3～6名までとする。
- (3) 論点を整理した配布資料（片面印刷のみ：A4版2枚、またはA3版1枚）を試合数×10部（指導講師、司会、相手チーム用）用意して当日に持参すること。なお、配布資料の内容も評価基準に加える。
- (4) グラフやデータ等を使用する場合は出所を明らかにすること。
- (5) 挙手制で司会が指名した者が発言をする方式を取る。
- (6) 討論の時間は1討論につき約50分とする。

(時間配分)

立論	6分	(肯定側3分、否定側3分)
作戦タイム	2分	
フリーディスカッション	15分	(否定側 → 肯定側) ¹
作戦タイム	2分	
フリーディスカッション	15分	(肯定側 → 否定側) ²
作戦タイム	2分	
最終弁論	6分	(否定側3分、肯定側3分)

※上記の表は参考。時間配分は変動することがある。

- (7) 立論・最終弁論に関しては、制限時間を超過しても打ち切らないものとする。フリーディスカッション中の質問は終了1分前までで、回答が終わり次第終了とする。
- (8) 指導講師および司会は、ディベート採点表(別添2参照)に基づき各チームの討論の評価を行う。指導講師・司会の採点表を集計し、各ブロックの優秀チームを決定する。配点比率は、指導講師：司会＝2：1とする。
- (9) 各ブロックの優秀チームを表彰し、記念品を贈呈する。

(減点要素)

- ※立論・最終弁論に関して、2分45秒～3分15秒に収まらなかった場合(15秒以上の時間超過もしくは時間不足の場合)
- ※立論に関して、明らかに原稿を朗読していると判断される場合(最終弁論は対象外とする)

※ 討論の際、持込み資料は紙媒体のみとし、パソコン、スマートフォン、電子ウェアラブル端末等の電子機器の使用は禁止とします。

※ なお、ルールに関してご質問等ございましたら、問い合わせ先にE-mailでご連絡をお願いいたします。

9. タイムスケジュール

参加申込み締切後に参加チーム数を踏まえて作成し、代表者宛に連絡します。

¹ 否定側から肯定側へ質問等を投げかけ、肯定側が回答する。

² 肯定側から否定側へ質問等を投げかけ、否定側が回答する。

10. 会場略図

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 関西大学千里山キャンパス

<千里山キャンパスアクセス>

大阪（梅田）からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車 徒歩5分。または京都線「京都河原町」行（通勤特急を除く）で「淡路」駅にて「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

地下鉄利用のアクセス

地下鉄堺筋線から阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅下車。

<キャンパス内会場アクセス>

※ 当日の使用教室が未定のため、確定次第、代表者宛に連絡します。



以上

【討論テーマ（命題）】**NISA制度に国内企業限定投資枠を追加すべきか**

2024年、新しい少額投資非課税制度（以下、新NISA）が導入された。日本政府は新NISAなどを通じた投資資金の拡大により企業の成長を促し、その恩恵を給与や配当として家計に還元することで経済の活性化を計っている。

しかし、2014年のNISA制度の開始にあたり参考とした英国のISA制度では「海外株への資金流出」が問題視されている。株式型ISAにおける自国株への投資比率は低く、自国企業の価値向上の好循環は生み出せていない懸念が指摘されている。こうした現状を踏まえ、英国では「非課税枠を拡大し、追加分の投資先は英国企業に限定する」案の導入が検討されている。一方で、政治的な意向を含んだ国内企業限定投資枠の導入は、制度の複雑化を招き、家計の資産形成に不利益をもたらすとの懸念もある。

また、ISAが抱える課題は、新NISAが始まった日本にも共通しており、国内企業への成長資金供給には拡大の余地がある。そこで本討論では、NISA制度に国内企業限定枠を追加することは国内企業の成長、ひいては日本経済の発展に繋がるのかについて議論してほしい。

- 肯定側：前提条件に従い、非課税投資枠の拡充を行うべき
- 否定側：肯定側の提案を棄却し、現行の新NISA制度を維持すべき

前提条件

1. 新NISA制度に国内企業限定投資枠年間90万円を追加する。「現在の年間投資枠360万円（つみたて投資枠120万円、成長投資枠240万円）＋国内企業限定投資枠90万円＝年間投資枠450万円」
2. 国内企業限定投資枠の投資上限は450万円（年間90万円×5年分）とし、NISAの総額上限を現在の上限1800万円から、2250万円に引き上げる。
3. 国内企業限定投資枠の対象となる投資先は、東証などの日本国内株式市場に上場している日本設立企業の個別株式、あるいはこれらの企業の株式を投資対象とする投資信託、ETFとする。

主要論点

1. 国内企業への成長資金の供給拡大に繋がるのか？
2. （投資のリターンやリスクの観点から）家計の資産形成において有益であるか？
3. 様々なステークホルダーへの影響を踏まえ、日本経済の発展を促進する施策であるか？

留意点

1. NISA制度の目的・意義について十分に理解して本ディベートに取り組んでほしい。
2. 英国ではなく、日本において本制度を導入する意義について議論してほしい。
3. 国内企業限定投資枠の投資上限の引き上げ・引き下げに関する議論は控えてほしい。
4. なお、本セミナー大会は、ディベートを題材とした金融の勉強の場であることを念頭に置いて取り組んでほしい。

2025年度「春季セミナー大会」ディベート採点表

【討論テーマ（命題）】

「NISA制度に国内企業限定投資枠を追加すべきか」

肯定側チーム ゼミ	—	否定側チーム ゼミ
()		()

【評価基準】 内容の一貫性と論理性・内容のわかりやすさ、参加者の態度

【評価】 1：悪い 2：工夫を要する 3：良い 4：かなり良い 5：大変良い

区 分 (時間)	肯定側チーム 評価	否定側チーム 評価
立 論 (6分) (肯定側3分、否定側3分)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
フリーディスカッション (15分) (否定側→肯定側)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
フリーディスカッション (15分) (肯定側→否定側)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
最終弁論 (6分) (否定側3分、肯定側3分)	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
配布資料	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
総合評価 (合計点数)		

(減点要素)

＊立論・最終弁論に関して、2分45秒～3分15秒に収まらなかった場合（15秒以上の時間超過もしくは時間不足の場合）

*立論に関して、明らかに原稿を朗読していると判断される場合（最終弁論は対象外とする）

2025年____月____日

証券研究関西学生連盟 行

証券研究関西学生連盟
2025年度「春季セミナー大会」参加申込書

※ 以下の内容をご記入の上、メールにてお申し込みください。
【申込締切：4月30日(水)】

大学名	大学		学部
団体名 (研究会・ゼミナールなど)			
大学住所	〒 ー		
申し込みチーム数・合計人数 (代表者含む)	<チーム数> チーム (1チームにつき3～6名)	<合計人数> 名	
フリガナ			
代表者名			
代表者連絡先	電話(携帯) : Email(PC) :		
指導教員連絡先	電話(携帯) : Email(PC) :		

- * 本申込書は1ゼミナールもしくは1研究会ごとに1枚ずつ提出してください。
- * ご提供いただく個人情報につきましては、本大会の開催にかかる確認・連絡以外に使用することはありません。
- * 対戦表作成の都合上、参加チーム数を調整していただく場合がございます。

【申込先】

証券研究関西学生連盟

(E-mail : shoukengakusei.kansai@gmail.com)